

## 第37回測量調査技術発表会 開催報告

開催日：2015年7月3日 10:00～17:30

会場：新宿区立四谷区民ホール

公益財団法人 日本測量調査技術協会（以下、測技協）の「測量調査技術発表会」は、測技協会員企業の先端技術の発表の場として毎年開催しており、本年度も新宿区立四谷区民ホールにて開催しました。第37回の本年は千葉大学特別教授、野波健蔵氏による特別講演「UAVの最新動向と先端測量技術」と技術発表を11編、4編の部会・WG活動報告を行いました。また、発表者のパフォーマンスを技術委員会が審査し選考した優秀発表賞3名の表彰に加え、会長賞1編、奨励賞2編の優秀技術論文を選考し表彰いたしました。詳細は次のとおりです。

### ■参加者数 421名

（測量および設計 CPD 発行 365名（参加）、測量 CPD17名（発表）、6名（受賞））

### ■発表内容

	発表タイトル	所属	発表者
1	GIS を利活用した固定資産税土地評価について	朝日航洋株式会社	川越 みなみ
2	高解像度衛星画像 (WorldView3) の利活用検討	アジア航測株式会社	村田 雄一郎
3	精密地形模型の縮尺の違いによる地物認識性に関する検討	東京カートグラフィック株式会社	尾身 洋
4	MMS を活用した陥没危険箇所基礎調査手法	株式会社パスコ	日當 卓也
5	地上型レーザスキャナーを用いた地形測量への適応に関する研究	国際航業株式会社	松村 隆一
6	世界最小の航空レーザ測深機 (ALB) による高密度計測と陸上計測への適用可能性について	アジア航測株式会社	大鋸 朋生
7	レーザー反射強度を用いた路面オルソ影除去について	朝日航洋株式会社	柳下 大
8	携帯型斜め写真撮影システム (PALS) による3次元災害地形把握	株式会社パスコ	川上 誠博
9	道路法面工点検での MMS 全周囲画像の活用事例について	アジア航測株式会社	井元 成治
10	産業用無人ヘリコプターによるレーザ計測 ～崩壊地における計測事例～	中日本航空株式会社	宮山 智樹
11	UAVによる航空測量に関する検討	国際航業株式会社	和久津 龍太
12	特別講演「UAVの最新動向と先端測量技術」	千葉大学 特別教授	野波 健蔵
13	国土管理・コンサル部会 UAV 技術WG 活動報告 UAVの活用と課題について	測技協 UAV技術WG	田中 善治
14	空中計測・マッピング部会 1) 河川分野への航空レーザ計測 (LP) の適用について	測技協空中計測・マッピング部会	畠 周平
15	空中計測・マッピング部会 2) MMS_WG活動報告	測技協 MMS_WG	西村 芳夫
16	GIS部会 活動報告	測技協 GIS部会	横井 雅則 中尾 護 坂本 圭

本発表会にもとづく論文等は本誌に掲載しています。

## ■表彰

### 1) 優秀技術論文

先端測量技術 106 号に掲載された論文の中より、新規性、有用性、完成度、信頼性、論文の分かりやすさ、論文としての体裁の7つの視点による審査により選考された優秀技術論文を、会長賞、奨励賞として表彰しました。

	論文タイトル	所属	執筆者
会長賞	ALB（航空レーザ測深）の河川測量への適用	株式会社パスコ	小澤 淳真
奨励賞	「異種の道」ネットワークづくりとGIS基盤の活用	国際航業株式会社	渡辺 美紀
奨励賞	自動マルチビーム測深システムによる水中3次元データの取得	中日本航空株式会社	神谷 光顕

### 2) 優秀発表賞

17名の審査員により、審査採点表により1) プレゼンテーション内容に基づく技術内容 4つの視点(40点満点) 2) 発表の仕方 3つの視点(60点満点) 100点満点にて採点し、以下の3名を選考し優秀発表賞として表彰しました。

所属	発表者
アジア航測株式会社	大鋸 朋生
中日本航空株式会社	宮山 智樹
国際航業株式会社	和久津 龍太



表彰者

## ■特別講演

千葉大学野波特別教授は、1998年から完全自律型ドローン（自ら考えて飛行する小型飛行ロボット）の技術研究に取組まれ2001年8月に日本で初めて自律制御化に成功し、世界的にも先駆的な業績となり、ドローン開発の日本の第一人者と言われています。今回の講演では、開発の経緯、最新のUAVに関する様々な動向、多くのUAVの利用分野、使用事例が紹介されました。また、UAVの国際動向、将来の可能性についても触れられ、夢のある未来をご講演いただきました。



野波健蔵教授 講演

## ■部会・WG活動報告

技術委員会の技術研究部会、WGからは、平成25年度～平成26年度の2年間の活動が報告されました。UAV、MMSに関する事例調査・積算調査や、航空レーザデータの新たな活用の可能性についての報告に加え、GIS部会から、防災・災害発生時におけるサービスにつて、「子供向けサービス」「大人向けサービス」「年配者向けサービス」の3パターンで整理・検討された報告が行なわれ、大変興味深い報告がありました。

- ・国土管理・コンサル部会UAV技術WG「UAVの活用と課題について」……………田中 善治
- ・空中計測・マッピング部会「河川分野への航空レーザ計測(LP)の適用について」……………畠 周平
- ・空中計測・マッピング部会MMS\_WG「MMS\_WG活動報告」……………西村 芳夫
- ・GIS部会「GIS部会活動報告」……………横井 雅則・中尾 護・坂本 圭

## ■その他

本年度は「UAV技術」という測量業界以外の参加者にも鮮度の高いテーマである野波健蔵氏の特別講演をはじめ、その他も関心の高いテーマの技術発表が多数行われたこともあり、悪天候にもかかわらず参加人数は昨年の340名を大きく上回る過去最高人数の421名となりました。

講演テーマの選考、論文および発表の審査、運営等に多大なご協力をいただいた技術委員会に感謝申し上げますとともに、今後も測量調査技術の高度化、普及等に寄与する発表会の開催を目指してまいります。

